

第3回「兵庫県建設業育成魅力アップ協議会」開催 ■日時:平成28年2月18日(木)10:30~11:50(平成27年度第3回)
■日時:平成28年4月28日(木)10:30~12:00(平成28年度第1回)

平成27年度第3回の協議会では、当協会山口会長より2月2日(火)に未来ビジョン委員会によって開催された県内の工業高等学校長を対象とした「空調衛生設備の現場見学会について」の説明がなされました。また、平成28年度第1回の協議会では「事業計画」や「建設業若年者入職促進・人材育成事業補助金について」の説明、「兵庫県若手優秀施工者賞の創設について」の説明を受けました。各委員からは、職場環境の改善の必要性や、定時制高校生の建設業でのアルバイトにおける企業側の育てる体制の必要性など、さまざまな意見が活発に交わされました。

「大型放射光施設(SPring-8)等見学会」開催 ■日時:平成28年3月8日(火)13:00~

●開催場所:佐用郡佐用町光都、たつの市新宮町
主 催:技術環境委員会
参加会員:21名

兵庫県西播磨総合庁舎において見学施設の説明を受けた後、世界に誇る先端科学技術施設である「大型放射光施設(SPring-8)」、「X線自由電子レーザー施設(SACLA)」、最新のがん治療を行う「兵庫県粒子線医療センター」に移動し、施設見学を行いました。見学を通して基礎研究から応用研究、さらに、産業利用における技術発展の現状を理解しました。



「(一社)日本空調衛生工事業協会 第68回定時総会」開催 ■日時:平成28年5月24日(火)

帝国ホテル東京において第68回定時総会が開催され、当協会山口会長らが出席されました。同総会では平成27年度事業報告、会計決算報告が行われるとともに、平成28年度事業計画等が決定されました。また、総会に先立ち開催された「理事会・諮問委員会合同会議」では、国土交通省建設流通政策審議官 海堀安喜会長から、「最近の建設業をめぐる諸問題」と題するご講演をいただきました。



建設業魅力説明会 ■日時:平成28年6月15日(水)20:25~21:10

●開催場所:県立錦城高等学校
主 催:県建設業室(未来ビジョン委員会)

高校生に空調という仕事、建設業の魅力を理解してもらい入職促進を図るため、定時制の県立錦城高等学校にて説明会が開催されました。当日は、未来ビジョン委員会のメンバーを中心に11名が参加。高井委員長の進行で山口会長による業界の説明に始まり、丸山氏による協会の組織説明、山中氏による給排水設備工事や空調換気設備工事の解説、井戸氏によるまとめと続きました。新たな試みとして、設備施工を行う会社として長村商会様の福田氏がパワーポイントで業務説明をされました。高校生から質問を受け、アンケート記入等、互いに今後役に立つ時間となりました。



「1級管工事施工管理技術検定学科試験の実力テスト」実施 ■日時:平成28年7月24日(日)9:40~15:30

●開催場所:神戸市勤労会館 409号室

受験前講習を行っている(一財)地域開発研究所による「テスト」形式の模擬試験です。模擬試験の結果は(一財)地域開発研究所によって「個人別成績結果表」「問題分野別能力レーダーチャート分析」が作成されますので、本試験に対する弱点補強に重点を置いた準備をすることができます。今回は14名の方にご参加いただき、真剣な表情で模擬試験に臨んでいただきました。



編集後記 「天災は忘れたころにやってくる」という諺がありますが、最近、頻繁に起こっている感じがします。記事にも掲載しましたが、当協会から熊本地震に義援金をお贈りしました。今後も、楽しく親しみやすい、協会を身近に感じてもらえる「ゆう和」を編集していきますので、よろしくお願いします。



【会員ご報告】

No.012
2016年8月



和 和

Air-Conditioning & Plumbing Contractors Association of Hyogo

表彰

平成28年2月1日
平成27年度兵庫県自治賞
(神戸地域)
土木建設功労表彰
山本鑿泉水道株式会社 山本 繁之 様



平成28年5月24日
兵庫県功労者表彰
まちづくり功労部門

伊丹産業設備株式会社 平岡 秀文 様



【兵庫県功労者表彰】
兵庫県では、県政の伸展、公共の福祉増進に功労のあった方、その他広く県民の模範となった方を、知事が県民を代表して表彰しています。

感謝状贈呈



和田株式会社 和田 直也 様
株式会社堀川忠義商店 堀川 雅春 様
株式会社スイカン 松本 雅稔 様
邦設備工業株式会社 山本 正幸 様

新任ごあいさつ

牟禮 正稔 専務理事

兵庫県庁時代、平成18~20年度に建設業の業務を担当し、当協会とも色々ご縁があり、この度、高職前専務理事の後任として、当協会にお世話になることになりました。

当時は、ながらく建設公共投資の減少が続いており、一方で、入札契約制度の大幅な見直しが実施されるなど、企業間競争がより一層厳しくなっていました。また、団塊の世代の退職に伴う技術・技能の継承問題など、様々な課題があったことを思い出します。

当協会では、そのような時期を乗り越えられ、委員会を中心に若年者や女性の人材確保等の諸課題に積極的に取り組まれ、活動されておられます。私も一員として、日々業務に励んでいきたいと思っておりますので、どうかよろしく願います。



義援金

兵庫県、兵庫県議会、地方4団体が中心となって平成28年熊本地震災害兵庫県義援金募集委員会が設立されております。平成28年5月31日の第41回通常総会懇親会会場にて募集委員会会長である井戸知事に山口会長から義援金をお渡しさせていただきました。



お知らせ **日本空調衛生工業協会 全国会議開催** ■日時:平成28年10月20日~21日
●基調講演:関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授・兵庫県立大学名誉教授 佐竹 隆幸 氏
●記念旅行:人と防災未来センター/世界文化遺産姫路城

第41回 通常総会・懇親会

■ 日時：平成28年5月31日(火) 通常総会/午後3時30分～
懇親会/午後5時～

■ 場所：ホテルクラウンパレス神戸5階

■ 総会出席者57名 委任状提出者29名 86名

■ 会長総会挨拶



さて、本日はお忙しい中、会員の皆様には兵庫県空調衛生工業協会通常総会にご出席いただき感謝いたします。昨年の総会で会長に就任いたしましたから1年が経過いたしました。本日はその1年間の事業報告、決算報告、そして今年度の事業計画、予算案についてご審議いただきますのでよりしくお願いいたします。

この1年を振り返りますと、昨年5月の通常総会で新しい組織体制が生まれ、その支えをいただきながら協会の事業を進めてまいりました。まず、委員会の組織の改変を行いました。一部委員会を統合したこと、そして、支出予算の削減や事業予算の見直しを考える予算特別委員会の継続、そして、設備業の女性を含めた担い手へのアプローチ、工業高校とのインターンシップの再開、若年入職者の増加育成事業を考える未来ビジョン委員会を設置して関係機関と協議を進めてまいりました。それらは設備工事業の啓発ポスターの作成配布に始まり、工業高校校長会との意見交換、そして、兵庫県防災センターの現場見学をすることができました。設備工事業に対する啓発の重要性を痛感しており、引き続き、事業を進めてまいりたいと存じます。そして、行政、特に兵庫県県土整備部との意見交換や県民局、市町村関係部局との連携や、事業の推進には我々の組織が必要不可欠なものであると考えられます。同業者の結束が災害時の緊急対応協定など行政との連携に役割が深まることが最も重要だと考えられます。当協会会員、賛助会員の参加の増加を今後も、会員の皆様にお声かけをいただき、図りたいと考えております。新入会員は後ほど懇親会の場で紹介させていただきますが、特に賛助会員につきましては増加傾向にありますので、正会員につきましてもますます増強を図っていきたくと考えております。

これからの新しい試みといたしまして小中学生から工業高校生など若い人たちへの設備業の啓発を映像で行うためのツールの製作を考えております。それらを持って各所に出かけ、説明する、知っていただくことを継続して行うことを考えております。それらのツールは秋には映像と紙媒体による資料が完成する予定でございます。そのための予算を確保するため兵庫県、労働局、日空衛などの補助金を申請したいと考えております。今年度の大きな新規の事業項目としております。また、地球環境の保全には欠かせない企業集団であることを啓発し、行政と連携した地域社会作りを目指したいと考えております。次に、3年後に控えた協会の四十周年について、どのような形で行うか、総会と併せて実施するなどできるだけ費用のかからないような形で検討して行きたいと思いま

通常総会司会：株式会社ツダ 松原 孝光 氏(総務委員会)
議長：株式会社但馬近畿工業 神田 武 氏
副議長：株式会社親和商会 高山 義和 氏
懇親会司会：和田株式会社 和田 直也 氏(総務委員会)

すので、総務委員会などで検討していただければと考えております。それと、地域懇談会などの機会にそのような意見交換をしていただいて、ご意見をいただければと考えております。その他ではございますが、日本空調衛生工業協会主催の全国会議が近畿地区で行われることになっております。近畿地区は今から9年前の平成19年に京都府で開催され、そして今回、10月20日、21日の2日間、兵庫県でやらせていただくことになりました。10月20日はホテルオークラ神戸での全体会議で基調講演、パネルディスカッションなどがあり、引き続き、国土交通省や全国の設備業者各位の意見交換懇親会が催されますので、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

■ 顧問祝辞 野口 裕 兵庫県議会 公明党・県民会議議員団団長



総会が無事に終了されましたこと、心からお祝いを申し上げます。さきほども山口会長からお話がありましたが、これからも業界を担っていく一番のポイントは何かというと、若い人たちが業界に魅力を感じ、そこで生きがいを見つけ、自分の生計を立てていく流れを作っていくことが大事だと、私は思いました。福祉や介護の分野でも若い人の人材不足は指摘されています。秋口に向けて、高校生の方に、この業界はこういう仕事をするところなのだ、こういう形で社会に役に立つ会社なのだということを広く若い人に知ってもらうために、ビデオを作って高校生の皆さんに見ていただく、あるいは親御さんに見ていただき、こういう会社だったら安心して勤めてもいいのではないかと、これを業界の皆さん方が一丸となって人材の確保に努められる必要があると思います。ビデオを作ることに県議会としても知事にきちんとした形で補助金をつけていただくことをお願いさせていただいております。人材が未広がり、多くの方が集うような兵庫県空調衛生工業協会に、という思いで全力を挙げております。

当協会の益々の発展と、会員の皆様のご隆盛を心から祈念申し上げまして挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。

総会では、平成27年度事業報告・決算報告、平成28年度事業計画・収支予算及び人事案件が議案通り可決されました。また、同日、平成28年度協会スローガンが決議されました。



■ 顧問祝辞 藤田 孝夫 兵庫県議会議員



本日は車の中で外気温が32度くらいになり、今シーズン初めての暑さでした。夏はずっと暑くなって、空調衛生工業協会のやることが増えるような温度になればと思います。そんな暑い日ですが、第41回の空調衛生工業協会総会の開催を心からお喜び申し上げます。

さきほど、井戸知事から消費税のお話がありましたが、日本の場合、消費税は単一課税ですから軽減税率を入れない限り、物価スライド、ベースアップ分が価格にオンしてしまう可能性が高いといわれています。一方で、将来の獲得賃金、所得イコール最終的にはトータル消費になるということでもあります。また、家計では、安定的に入ってくるお金を均一的に変化なく出そうとする働きがありますから、大きな変動はないに越したことはありません。消費税が上がることが発表された段階で、すでに消費心理は冷え込んでいきお金を使わなくなっているのではないかと、この理論が経済の原則としてあります。

消費税が前回8%に上がるという発表は2013年の10月に行われ、翌年の1月には1ポイント、その前年の10月には5ポイントくらいトータルの消費が低減したという事実があります。2年半後に10%に上がるという発表でしたが、相当な対策を打たない限り、消費者心理は既にまた上がる消費税に備えて、財布の紐を締めていることが想定されるわけです。その効果がどのようになっているのかを含めた対策が求められるだろうと思います。賃金を払う側にとってみたら、生涯の獲得賃金を上げていただいて、そのトータルでの消費行動がきちんと廻っていくような施策をとっていただくことが大事で、その責任もあると思います。

昨年、県議会では中小企業の振興に対する基本的な条例を制定いたしました。今年はいよいよ予算を事業化に向けての年でもありたいと思います。皆さんに具体的な意見を賜りながら、地域ものづくりや経済活性化のための確実な事業を生み出したいと思っておりますのでお知恵を拝借したいと思っております。それでは、当協会の益々の発展と、会員の皆様のご隆盛を心から祈念申し上げまして挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。

■ 知事祝辞 井戸 敏三 兵庫県知事



第41回の通常総会、懇親会、おめでとうございます。我々もお招きいただき、ありがとうございます。

熊本の地震の話がありましたが、余震が続いたこともあり、一部損壊の家屋でもなかなか安心して夜眠れないという状態が続いたと聞いております。ようやく落ち着いてきましたので、これからこの業界の皆

さんにも応援してくれという話が出てくるかと思っておりますので、その際はよろしくお願ひしたいと思います。

景気が悪いということを利用して、消費税は来年4月には上げられないことになりました。経済を失速させては元も子もないということではあります。結論としてはよかったのではないかと思います。ともかく、財政の安定と福祉の充実という2つの道を掲げていますので、その意味で福祉の充実にも目配りをしていただきたいと思います。それと併せて、消費税を伸ばしたから景気が良くなるわけではございませんので、景気対策、将来に対する懸念やリスクがたくさんあるという認識でしっかりした景気対策をやっていただくことを政府に願ひしたいと思います。

兵庫県の有効求人倍率は1.10でありまして、大変、人手不足が続いています。ただ、人手不足といえども、分野によってすぐ違うわけでありまして。電業の博覧会に工業高校の生徒を招待しPRをすることもやっていらっしゃいます。また、山口会長のお話では、校長先生や先生方はもちろんですが、生徒に対してもインターンシップ、就業体験をしていただくような機会を作られていることも一つの方法だと感じました。ともあれ、どうしてもベテランの技術者を養成しようとする時間がかかります。そのキャリアアップをどのように制定するのか、これは建設業界も空調業界もそうですが、どの業界においても課題になっているわけでありまして。キャリアを求めている人にきちんと提示をできるか、というのがポイントになるのではないかと考えられますので、そのような意味で兵庫県空調衛生工業協会としてしっかりと内容を持っていただくことを期待したいと思います。

最後になりますが、民間設備投資が少し弱まっているといわれますが、日経新聞の調査では8%くらい今年度も増えるという調査もあります。また、1～3月のGDPは名目で2%伸びました。もう少し住宅投資や設備投資が動くといった景気対策に対する配慮が必要ではないかと思っています。また、平成28年度の予算執行の契約率について、国は上半期を80%と打ち出しております。県もそれに追随して80%と打ち出しておりますが、後半は補正予算を組むことを前提にした運用がされているのではないかと、国の対応に期待をしているわけです。今後の空調業界は引き続き期待できる業界であるわけですから、益々のご活躍を祈念させていただきます。私のお祝いの言葉にさせていただきます。今日はおめでとうございます。